

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.30
平成25年3月22日

感動的な卒業式—私たちの心と桜小の歴史に刻んで

3月19日(火)、182名の6年生が本校から巣立って行きました。卒業証書授与式では、厳粛な雰囲気の中、会場全体に響き渡る大きな返事、卒業証書を受け取る凛とした一人一人の表情、規律正しい立ち居振る舞いなど、6年生の最後の授業にふさわしい立派な態度を見ることができました。

交歓の部では、6年間の懐かしい思い出やお世話になった先生方、ご家族、地域の皆様方への感謝の気持、そして、未来に向かっての旅立ちの決意を力強く発表してくれました。

呼びかけの中で歌った「最後のチャイム」、そして、最後に歌った「旅立ちの日」の合唱は、とても丁寧で、力強く、そして、きれいなハーモニーとなりました。今年の合唱は、今までに聴いた合唱の中でもとりわけ完成度が高いものでした。きっと来賓の皆様、保護者の皆様も感動していただけたのではないのでしょうか。

また、在校生の代表として出席した5年生も、最上級生としてのバトンを引き継ぐ自覚と桜小の伝統を引き継ぐ意志を、力強い呼びかけと「明日へ続くこの道を」という合唱の中で表すことができました。

日の出小学校との分離を控え、第55回卒業式は、私たちの心と桜小学校の歴史の一頁に深く刻まれたことと思います。ありがとうございました。

平成24年終了式の話より(3/22)

思い出を胸に感謝の気持ちで締めくくろう

みなさん、1年間本当によくがんばりました。この1年間の成長は目を見張るものがあります。自分ではそんなに感じていないのでしょうか。でも、思い浮かべてください、1年前の自分の姿を。ほら、大きく成長したことに気が付くことでしょ。

自分の手のひらをだまってみつめてみてください。去年にはなかったしわが増えているのです。いろいろなことにチャレンジしてがんばったときにできたしわです。

見ることはできませんが、同じように皆さんの脳にもたくさんしわが増えたのではないのでしょうか。知識のしわです。人間には他の動物の何倍も、何十倍もの知識のしわができています。それは、学べば学ぶほど、考えれば考えるほど増えていくのです。ですから、私や先生方は皆さんの何十倍ものしわができていますよ。先生方からたくさんのことを教えていただいて、知識のしわをたくさんわけていただきましたね。

今日で平成24年度が修了します。おめでとう！4月からはまた新しい世界が広がります。とくに、桜小学校は、日の出小学校と分離しますので、桜小は406名、日の出小は575名となります。

それぞれの学校で、「よおし、がんばるぞ！」との意気込みをもって進んでください。そして、知識のしわをどんどん増やしていきましょう。

さあ、両手を握ってください。平成24年度の思い出をしっかりと握りしめましょう。そのたくさん思い出を胸にしまっ、新しい世界の扉を開く準備をしてください。

そして、お世話になった先生方のチョークだらけになっていた手や、赤ペンのインクがついていた手を思い出して、感謝の気持ちで1年間の締めくくりをしましょう。先生方、給食室の調理員さん、事務室の先生方、お家の方、そして、スクールガードの皆様始め、地域の方々と、多くの皆様のお陰で今日を迎えることができたのです。

平成24年度、修了です。おめでとうございます！

